

すもと

市議会だより

漁師の心意気と夢をのせて

域学連携事業により京都造形芸術大学生が
描いた五色町漁協の壁画

- 3月定例市議会の概要・
予算審査特別委員会 (2)~(4)
討 論 (4)
議案等の議決結果 (5)
代表質問・議会用語 (6)~(8)
特別委員会報告・議会日程 (8)

- | | | |
|---------------------|-------|-----------|
| 一般質問 | | (9)~(13) |
| 市政調査報告 | | (13) |
| 常任委員会の動き | | (14)~(15) |
| 議員研修・政務活動費と議会交際費の公表 | | (16) |
| 就任あいさつ・視察の受け入れ | | (17) |
| 議案を審議する流れと委員会の役割 | | (18) |

目次



編集発行 洲本市議会 洲本市本町三丁目4番10号 TEL.0799-22-3321㈹ FAX.0799-22-3092

ホームページ <http://www.city.sumoto.lg.jp/>

洲本市議会

検索

3月定例市議会は、3月3日に竹内市長から平成28年度の市政運営に臨む施政方針が示され、これに基づく平成28年度の一般会計及び特別会計の当初予算が上程されました。

これに対し市議会は、予算審査特別委員会を設置。3月10日から3日間、重点事務事業を中心担当部署から詳しい説明を聴取り、慎重に審査した結果、可決すべきものと決しました。その後、23日の本会議において可決されました。

また、国の補正予算に歩調を合わせた、平成27年度の一般会計及び特別会計の補正予算をはじめ、報告案件、議案が上程されました。それを受け、各常任委員会を開催して審査を行いました。23日の本会議で、議案第30号については、賛成少数で否決、そのほかの案件は可決されました。議案等の議決結果は、5ページに掲載しています。

51万円の当初予算可決

後最大規模の249億円

平成28年度 一般会計・特別会計予算額 (単位:千円、%)

会計名	平成28年度	平成27年度	増減率
一般会計	24,900,000	24,200,000	2.9
特別会計	国民健康保険	事業勘定 直営診療施設	6,900,000 600,000 △12.4
	由良財産区	1,130	800 41.3
	納、鮎屋財産区	70	70 0
	堺財産区	315	313 0.6
	土地取得造成	387,000	198,500 95.0
	下水道	1,803,000	1,932,000 △6.7
	C A T V	650,000	651,400 △0.2
	介護保険	事業勘定 サービス事業	4,613,000 330,000 △12.5
	後期高齢者医療	680,000	666,000 2.1
	計	15,964,515	15,871,083 0.6
合計	40,864,515	40,071,083	2.0

平成28年度の一般会計は、市役所新庁舎の建設、(仮称)中川原スマートIC整備事業、由良小学校プール新築事業などの投資的経費を含め、前年度比2.9%増の249億円となりました。また、「ふるさと洲本もつともつと応援寄附金」が好調なことや、借換債にかかる償還元金の増額などを受け、当初予算としては、合併後最大規模となっています。

Q 12月の集中豪雨で、由良支所に電話しても宿直に転送され、対応できなかった。改善を。(総務部局地的な災害の場合、支所の近隣在住職員が、現地に参集し、災害対応を行う体制が必要であると考えるので、職員の参集条件の見直しを図りたい。

Q ふるさと納税は、南あわじ市がトップだった。ポイント制で寄附が増えたようだが、本市の考えは。(財務部ポイント制には高额な委託料が発生する。本市



▲ふるさと産品をPRする桂三実さん

総務関係

Q 電子入札システムの導入費が上がっているが、どのような効果があるのか。

A (財務部)書面による通知事務などが電子化され、迅速化や効率化が図られる。書面でのやり取りや入札会場に出向く必要もなくなるので、応札者の利便性も高まる。

Q Wi-Fiステーションの設置場所や利用方法は。

A (企画情報部)市民広場・三熊山山頂・新庁舎・五色庁舎など、10カ所程度設置予定である。利用については、観光情報を探しやすくしたり、災害情報も流せるようにした。

Q 災害時の対応に影響はないか。(総務部)実団員数を増やしている。装備の充実も図りたい。

A (財務部)水産物・牛肉・玉ねぎが人気である。年間通じて質量とともに返礼品の更なる充実を図りたい。27年度は、ドラクエグッズを導入し、人が上がった。今後も積極的にドラクエを活用したい。

Q ふるさと洲本もつともつと応援寄附金事業の返礼品は。

A (財務部)実団員数を増やしている。装備の充実も図りたい。

平成28年度予算の新規・拡充事業

○安全で安心な暮らしの実現

- 新庁舎建設 23億4,200万円
- 電子ハザードマップ作成 200万円
- ごみ減量対策 3,700万円
- 子育て世帯定住促進団地 2億1,000万円
- 3歳児以上の第2子目以降児の保育料大幅軽減 6,800万円
- 特定不妊治療費等補助 501万円
- すもとっ子就学応援 500万円

○活力とにぎわいのあるまちづくり

- 観光Wi-Fi整備 1,550万円
- 「関西ワールドマスターズゲームズ誘致準備委員会」の設置 100万円
- 竹チップを原料としたバイオマスボイラーアー整備 5,500万円
- 高速バスICカード導入補助 342万8千円

○新たな魅力の創造

- ふるさと渕本もっともっと応援寄附金（返礼品など） 2億1,500万円
- すもとCITYプロモーション（浅草「まるごとにっぽん」など） 4,000万円
- 「すもとアルファビアミュージアム」管理運営 1,200万円
- 由良小プール新築 1億4,100万円
- 中学校空調機設置 1億7,500万円

○行財政改革の取り組み

- ペーパーレス議会システム導入費 270万円



▲子どもたちでにぎわう塩屋緑地

総額408億6,4

一般会計は合併

特別会計は、企業誘致に伴う土地取得造成特別会計が大幅に伸びていますが、直営診療施設勘定・介護保険サービス勘定では、収入を厳しく見込んだことなどにより減額し、特別会計全体では、ほぼ前年度並みの、159億6,451万5千円となっています。当初予算全体は、408億6,451万5千円です。

成28年度の主な新規・拡充事業は左表のとおりです。また、平成27年度の一般会計補正予算は、臨時福祉給付

事業補助金、2億800万円、地方創生加速化交付金4千万円など、補正額2億7、800万円が計上されました。予算審査特別委員会での主な質疑の内容、要望事項などは次のとおりです。

〔要望〕

- ・地域創生を目指すための主要な施策として、さらに子育て環境の充実に力を注がれたい。
- ・繰出金が増加傾向にあることから各特別会計の事業実施に当たっては、事業の効率化に一層取り組まれたい。

教育民生関係

Q 福祉年金800万円の支給対象者数と、その要件は。

A(健康福祉部) 年額5,000円を1,600人に支給する

見込み。身体障がいの1～4級や知的障がいの重度・中度の方、またその扶養者、精神障がい1級の方が対象となる。

Q 介護の一次予防・二次予防の内容は。

A(健康福祉部) 一次予防は、全ての高齢者を対象としており、いきいき百歳体操や介護支援事業所での介護予防教室などがあげられる。二次予防は、要支援・要介護になるリスクが高い人を抽出し、支援を行っている。

Q ペーパーレス議会システム導入の具体的な内容は。

A(議会事務局) 運用はこれから。できるだけ多くの資料をペーパーレス化していきたい。

では職員が手作りで企画運営しており、引き続き現状のしきみで取り組みたい。

Q 子育て応援タクシー利用料金助成事業の対象者数は。

A(健康福祉部) 最近は年間約300人の出生数であり、平成27年度、28年度の2年間を対象に、600人を見込んでいます。

Q 鮎原診療所の介護サービス関係予算が大幅な減少となっている。現状はどうなっているのか。

A(健康福祉部) 主なサービスであった通所リハビリの利用者がなくなり、訪問リハビリに若干の利用がある状況となっている。

Q マイナンバーカードについて、新年度の予算でどれだけ発行を見込んでいるのか。

A(市民生活部) 2月末で約3,000枚の申請があり、今年度中に1,000枚を交付でき

議案等の議決結果

【全会一致により承認・可決・同意】

- 報告第1号 専決処分の承認について
・洲本市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について
・洲本市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を廃止する条例制定について
- 議案第3号 平成28年度洲本市由良財産区特別会計予算
- 議案第4号 平成28年度洲本市納、鮎屋財産区特別会計予算
- 議案第5号 平成28年度洲本市堺財産区特別会計予算
- 議案第6号 平成28年度洲本市土地取得造成特別会計予算
- 議案第7号 平成28年度洲本市下水道事業特別会計予算
- 議案第8号 平成28年度洲本市CATV事業特別会計予算
- 議案第11号 洲本市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例制定について
- 議案第12号 洲本市の議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第13号 洲本市行政不服審査会条例制定について
- 議案第14号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- 議案第15号 洲本市消防団条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第16号 洲本市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例制定について
- 議案第17号 洲本市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例制定について
- 議案第18号 洲本市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第19号 洲本市五色健康福祉総合センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第20号 洲本市営炬口駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第21号 洲本市開発事業指導条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第22号 洲本市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第23号 洲本市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第24号 権利の放棄について（淡路広域行政事務組合出資金返還請求権）
- 議案第25号 洲本市の区域内における字の区域の変更について（千草地区）
- 議案第26号 洲本市の区域内における字の区域の変更について（千草地区）
- 議案第27号 洲本市の区域内における字の区域の変更について（千草地区）
- 議案第28号 洲本市の区域内における字の区域の変更について（五色町広石下地区）
- 議案第29号 洲本市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第32号 洲本市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第33号 洲本市職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第34号 洲本市職員退職手当基金条例を廃止する条例制定について
- 議案第35号 洲本市離島振興対策実施地域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例制定について
- 議案第36号 財産の取得について（洲本アルチザンスクエア）
- 議案第37号 洲本市教育委員会委員任命について
- 議案第38号 洲本市農業委員会委員任命について
- 議案第39号 平成27年度洲本市一般会計補正予算（第3号）
- 議案第40号 平成27年度洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第41号 平成27年度洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第2号）
- 議案第42号 平成27年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第43号 平成27年度洲本市CATV事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第44号 平成27年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 議案第45号 平成27年度洲本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

【賛成多数により可決】

- 議案第1号 平成28年度洲本市一般会計予算
- 議案第2号 平成28年度洲本市国民健康保険特別会計予算
- 議案第9号 平成28年度洲本市介護保険特別会計予算
- 議案第10号 平成28年度洲本市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第31号 洲本市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

【賛成少数により否決】

- 議案第30号 洲本市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

※議会内的人事に関する案件は除いています。

施政方針・教育行政方針について市長・教育長に聞く

代表質問

会派 「志」(こころざし) 代表: 小野 章二

会派 宙(おおぞら) 代表: 小松 茂

会派 日本共産党 代表: 近藤 昭文

会派 公明党 代表: 岡崎 稔

知りたい

議会用語



代表質問と一般質問

- 代表質問とは、会派を代表した議員が、市長の施政方針や予算編成方針、教育長の教育行政方針に対して行う質問をいいます。
- 本市では、毎年3月定例市議会、および市長改選後の最初の定例市議会で行われます。
- ちなみに会派とは、議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まったグループのことです。

- 一般質問とは、議員一人ひとりが、市長をはじめとする執行機関に対して、市のさまざまな事業などに関する方針や市長の考え、事業の計画や詳細、効果など、市民の生活に関わる多岐にわたった内容を聞く質問をいいます。一般質問は毎定例市議会で行われます。

質問は、議案とは関係なく本市の行政全般に対して認められるもので、上程された議案などに関してのみ疑義を質す「質疑」とは異なるものです。



は。
Q 地方公共団体の「預貯金」に相当する「財政調整基金」の状況は。

A 現在、公民館の活用も、少しではあるが、様変わりしている。提案のサテライト化については、「意見として承っておきたい。

Q 最近の非合法団体の動きに対する対応は

A 関係機関と連携し、暴力追放運動を続ける

代表質問

「志」(こころざし) 小野 章二

Q 職員の士気の高揚を図り、職員の士気の高揚を図り、能力や実績に基づく人事管理を目的とした地方公務員法の改正に対応すべく、平成28年4月からの実施に向け、関係規定の整備を行っている。

A より高い能力を持つ人材の育成につなげていく、人事評価制度の導入は。

Q 核家族化が進み、働く女性が増える中、調査研究している。

A 不妊治療のうち、体外受精や顕微授精を受けている夫婦、また適切な検査や治療を受ければ、6～8割の方が出産につながるとされている不育症の治療費の一部を助成していく。

Q 病児・病後児保育については、病児・病後児保育について、妊娠・出産に対し新しく導入される特定不妊治療費・不育症治療費の助成と、病児・病後児保育の取り組みについての考えは。

Q 子育て環境の充実について、妊娠・出産に対し新しく導入される特定不妊治療費・不育症治療費の助成と、病児・病後児保育設事業などに多額の取り崩しを行うことから、32億円になる見込みである。

平成26年度末残高は37億円。

Q 学校教育活動の充実について、「一校一運動」の取り組みは握った中で、自校の課題を見つけてさまざまな運動を取り入れている。例として、サーキットトレーニング、ストレッチ運動、ラ

A 体力・運動能力の状況を把握した中で、自校の課題を見つけてさまざまな運動を取り入れている。例として、サーキットトレーニング、ストレッチ運動、ラ

Q 平成28年度末では、新庁舎建設事業などに多額の取り崩しを行うことから、32億円になる見込みである。

平成28年度末では、新庁舎建設事業などに多額の取り崩しを行うことから、32億円になる見込みである。

代表質問

公明党 岡崎 稔



A Q 平成28年度予算における特色、重点施策は。総合戦略に掲げる、安全で安心な暮らしの実現、活力と大きな道標とし、これらを具現化するための施策、事業を行うとともに、子育てしやすい風土を一層醸成し、安心して子どもを産み育てられるまち、子育て世代が働きやすく住みやすいまちづくりに取り組みたい。

A 災害時の避難道路、市民生活の基幹道路である国道28号洲本バイパス計画の進捗状況は。本体工事着手に必要な用地取得は、必要面積の7割弱にとどまっており、円滑な用地取得と、少しでも工事着手に近づけるよう努力したい。

A 災害時の避難道路、市民生活の基幹道路である国道28号洲本バイパス計画の進捗状況は。本体工事着手に必要な用地取得は、必要面積の7割弱にとどまっており、円滑な用地取得と、少しでも工事着手に近づけるよう努力したい。

A 災害時の避難道路、市民生活の基幹道路である国道28号洲本バイパス計画の進捗状況は。本体工事着手に必要な用地取得は、必要面積の7割弱にとどまっており、円滑な用地取得と、少しでも工事着手に近づけるよう努力したい。

A Q 平成28年度予算における特色、重点施策は。総合戦略に掲げる、安全で安心な暮らしの実現、活力と大きな道標とし、これらを具現化するための施策、事業を行うとともに、子育てしやすい風土を一層醸成し、安心して子どもを産み育てられるまち、子育て世代が働きやすく住みやすいまちづくりに取り組みたい。

A Q 環境省より、洋上発電の事業化の検討を行うモデル地域として、五色沖が選ばれ調査が進められているが、現状は。2ヵ年計画で、対象地域の分析が行われている。引き続き必要な調査について、国庫事業を活用し、洋上発電の事業化の検討を進めるとともに、漁業とも調和し、漁村の活性化に資する地域貢献型の発電事業となる仕組み、体制の整備も合わせ検討していくたい。

A Q 環境省より、洋上発電の事業化の検討を行うモデル地域として、五色沖が選ばれ調査が進められているが、現状は。2ヵ年計画で、対象地域の分析が行われている。引き続き必要な調査について、国庫事業を活用し、洋上発電の事業化の検討を進めるとともに、漁業とも調和し、漁村の活性化に資する地域貢献型の発電事業となる仕組み、体制の整備も合わせ検討していくたい。

議会日程

- 2月25日 告示 常任委員長会
- 2月29日 議会運営委員会 議会報編集特別委員会
- 3月 3日 本会議第1日
総務常任委員会 教育民生常任委員会
- 3月 7日 本会議第2日（代表質問4会派）
- 3月 8日 本会議第3日（一般質問4議員）
議会運営委員会
- 3月 9日 本会議第4日（一般質問4議員）
- 3月10日 予算審査特別委員会
- 3月11日 予算審査特別委員会
- 3月14日 予算審査特別委員会
- 3月16日 教育民生常任委員会
- 3月17日 産業建設常任委員会
- 3月18日 総務常任委員会
- 3月22日 議会運営委員会
- 3月23日 本会議第5日（討論、採決）
議会運営委員会 総務常任委員会
- 3月24日 本会議第6日（役員選挙）
総務常任委員会 教育民生常任委員会
産業建設常任委員会 議会運営委員会
議会報編集特別委員会
- 4月 5日 議会報編集特別委員会

議会報編集特別委員会 中間報告

平成27年3月25日以降、委員会（11回）と編集作業（14回）を行い、市議会だよりを発行してきました。

編集にあたっては、

1. 市民に開かれた議会の実現を目指して、市民と市議会を結ぶパイプとして重要な役割を持つ議会報を、より詳しく、よりわかりやすく、より親しみを感じていただくようにするなど、その充実を図ること。
1. 市民に可能な限り早く届けるため、発行日を定例会が閉会した翌月の15日とすること。
1. 議員みずからが原稿を作成し、編集すること。
この3点をコンセプトとしています。

今期は、近畿市町村広報紙セミナーに委員全員で参加し、記者や作家などによる講義を受講。また、他の参加者らと意見交換を行い、講評や貴重なアドバイスをいただきました。その経験を生かし、紙面全体の色のトーンを見直し、余白を持たせた写真の配置や、文字のフォントを変えるなど、ページに変化をつけるよう、改善に取り組みました。

本年から選挙権年齢を18歳以上に引き下げるもあり、よりわかりやすい議会報の編集、発行に努めています。

ズバリ!! そこが聞きたい

片岡 格 P.9

- 「安全で安心な暮らしの実現」について
- 「活力とにぎわいのあるまちづくり」について

木戸 隆一郎 P.10

- 子育て支援の充実と子供の貧困対策について
- 公共施設等総合管理計画について
- 電力自由化による新電力の導入について

先田 正一 P.10

- 防災・減災について
- 福祉施策について
- 子育て支援について

福本 巧 P.11

- 地域資源の有効活用について
- 交流人口の促進について
- 防災環境の充実について

木下 義寿 P.11

- 定住促進について
- 企業誘致について
- 畜産(繁殖和牛)振興について

平郡 平 P.12

- 洲本市の持つ観光資源の有効活用について

中野 瞳子 P.12

- 「住んでよかった、これからも住み続けたい」と思うまちづくりについて
- 本市の広報について
- 生活習慣病などの予備軍について

間森 和生 P.13

- 子育て・教育環境の充実について
- 安心して暮らせる地域づくりについて
- 障害者(児)施策の課題について

※ここに表示した質問項目は、定例市議会で実際に行なった質問を全て記載しております。
ただし、各記事に全ての質問・答弁が掲載されているとは限りません。

Q 粗大ごみ有料化
粗大ごみ収集の有料化の方針が出ていたが、収集方法・料金の

A などとも協議しながら対策を考えたい。
(教育長)

Q 生徒がクラブ活動などで遅く帰つてるので見かけるが、通学路の防犯灯、街灯などのないところがある。対策を。

A 町内会、地元の方々

A 現在、国において種々必要な制度の見直しがなされており、市としては、国の動向を注視していきたい。

Q 再生エネルギーの活用を大いに進めるべきであるが、太陽光発電施設において事故やトラブルが発生している。防止策が必要と思われるが。



▲急傾斜地に設置される太陽光パネル

A は、全て対応している。また、年度当初には通学路の安全点検を実施。道路形状から厳しいところは、通学路の変更をしている。
(教育長)

A 想定されるが、防止策は、投棄が増えることが想定されるが、防止策は、監視体制の強化などを考える。

Q 惡質な場合には法的処置も考える。

A の専門委員の派遣を実施。また、赤ウニの養殖を試験的に取り組む。

Q 町の活性化に欠かせない漁業振興策に思い切った抜本的な対策を講じる必要があるが。由良に6次産業化の事業を試験的に取り組む。引き続き今までの事業を継続的にやっていくことが重要と考える。



A かたおか 片岡 格 (日本共産党)
Q 町内会、地元の方々と協議し対応

Q 通学路の安全対策
昨今、自動車運転過失における悲惨な事故が相次いでいるが、通学路の安全対策の進捗は。

A 収集場所、方法などについては、市民の利便性を考慮しながら、また、高齢者や障がい者などに配慮した収集方法を考えていきたい。料金についてもまだ決まっていないが、早期に設定していただきたい。(市民生活部長)

Q せない漁業振興策に思い切った抜本的な対策を講じる必要があるが。由良に6次産業化の事業を試験的に取り組む。

(農林水産部次長)

直しがなされており、市としては、国の動向を注視していきたい。

(農林水産部次長)

直しがなされており、市としては、市の動向を注視していきたい。

直しがなされており、市としては、市の動向を注視していきたい。



▲「まるごとippon」の出店ブース

地域資源の有効活用

Q 一般消費者への地元産品のPR活動の反応は。



A 「食」をテーマとしたセールスを仕掛ける
Q すもとのプロモーション戦略は

福 ふく
本 もと
巧 たくみ
(宙) おおぞら

交流人口の促進

A 外国人誘客に向けた環境の整備は、県が中心となり、今年度から観光庁で実施されている「広域観光周遊ルート形成促進事業」を活用した多言語案内表示や、スマートフォン・タブレッ

有効性は認識してい。本市はこれまで「地域おこし企業人交流プロジェクト」(総務省事業)も活用してきた。今後も全市体制でのPR活動に取り組みたいと期する。

A 民間人材登用による訴求力のあるプロモーション戦略の考えは、民間の優れたノウハウの導入に対する

ト端末なども活用で多くの多言語アプリなどの環境整備に向けた事業の検討を進めていく。

防災環境の充実

Q 灰口ポンプ場敷備
計画とその効果は。

Q 家賃やデザイン、周辺環境
若い家族が望む住まいの条件は、安い

企業誘致

A 熊の牛としての名前がある。神戸ルーフと淡路ルーフの違いは、いずれのルーフも地域団体商標登録



▲定住促進住宅のイメージ図

卷之三

A black and white portrait of Shigeru Miyamoto, a Japanese video game designer, producer, and programmer. He is wearing a dark suit, a light-colored shirt, and a striped tie. He has short, light-colored hair and is looking slightly to his left with a neutral expression. The background is blurred, showing what appears to be an indoor setting with other people.

木きの
下した
義よし
寿かず
(宙) おおぞら

企業誘致

畜産(繁殖和牛)振興

Q 市場で高値続々の
淡路の和牛は、兵庫

A 企業の人材確保の
ため、インターネット
での助成や、大学新卒予
定者などへの合同就職説
明会実施など、就労支援
を行っていく。

(企画情報部長)

A 企業誘致のためには活用できる市有地が必要であり、新たに民間遊休地も含め、用地の確保に努める。

Q 市内農家で起き牛
命が困つくなが、新
規就農者、規模拡大希望
者に活用できなか。
A こAなし関係機関
と協力して情報収集
している。県事業で、本
年より但馬牛継承バンク
を整備し、就農希望者、
経営移譲者をマッチング
させの取り組みを始めて
いる。
(農林水産部長)

され、神戸ビーフなどに地理的表示保護制度に登録されている。両制度は名称の独占使用などにおいて違いがある。地域ブランドとして観光資源や文化など産品に必要不可欠であり、地域振興に大きな役割を果たしている。

（農林水産部長）

畜産(繁殖和牛)振興

市場で高値続々の
淡路の和牛は、兵庫

を東京に移し、京葉農業高等専門学校の経営移譲者をマッチングさせることから取り組みを始めていた。（農林水産部長）

A Q 上塙における定住促進住宅の特徴は子育て世代に便利な間取りを採用

次に鳥飼小学校のフューチャースクール事業によるICT機器活用の授業風景を視察。児童全員が前を向き、教師は子どもたちの表情を見ながら学習を進めているのが印象的でした。

続いて五色健康福祉総合センターへ。特別養護老人ホーム、グループホームなどさまざまな介護サービス事業が展開されています。利用される老齢の方々も、職員の援助で生き生きと過ごしていました。



▲鳥飼小学校の授業風景

に事業が完了しないことから、来年度に予算を繰り越す説明がありました。

審査の結果、議案

第20号、炬口駐車場の設置及び整備に関する条例の改正においては、駐車場の適正管理、省力化のためのゲート設置など

について、さらなる有効活用を図り、収益確保に努める旨を要望し、すべての議案を全会一致で可決すべきものと決しました。



▲整備が進む(仮称)中川原スマートIC

は約51%で、ほぼ予定どおりに進んでいるとのこと。ニゴリ池(五色町鮎原南谷)では工事の進捗を、井堰災害復旧(五色町鮎原栢野)では完成状況を、それぞれ調査しました。

議案審査 補正予算2件を審査

産業建設常任委員会

平成27年度一般会計補正予算、下水道事業特別会計の補正予算など、10件の議案審査を行いました。

3月17日に委員会を開催し、

災害復旧工事の進捗状況を調査 所管事務調査

平成26年と27年発生の農業土木災害の補助災害進捗状況について、また平成26年度と27年度の公共土木災害の進捗状況について、それぞれ調査を行いました。進捗状況は資料のとおりで、繰り越される26年分についての早期復旧を、27年分については早期契約の締結を要望しました。

現地調査では、平成30年3月完成予定の(仮称)中川原スマートICの現地で説明を受けました。用地取得の契約は全て完了しており、進捗率

災害復旧工事の進捗状況

12月31日現在 (単位:件)

区分	被災箇所数	設計書作成状況	契約状況	工事完成状況 (現場ベース)
平成26年発生農業土木災害	542	542	542	247
平成27年発生農業土木災害	50	29	5	1
平成26年発生公共土木災害	131	131	131	108
平成27年発生公共土木災害	14	0	0	0

議員研修

◆1月25日

尾原勉兵庫県淡路県民局長を招き、
淡路地区の創生戦略について話を伺いました。



淡路地区での取り組みは、人口対策と地域の元気づくりについてで、5つの作戦があげられました。

- ①人口減少社会における新たな島民増加作戦
- ②淡路人（あわじびと）意識醸成作戦
- ③淡路島来島者増加作戦
- ④淡路島基幹・伝統産業活性化作戦
- ⑤淡路らしい健やかな暮らし持続作戦

その中で、特に県が力を入れて取り組む事業として、地域資源を生かした観光振興による交流人口の増加があげられました。淡路の農畜水産物を生かすを得ることができます。

今回は、タブレットを使用してどのように会議を運営するのか、ペーパーレス会議システムを実際に使って研修しました。スマートセッションとよばれるこのシステムは、会議資料をサーバで一括管理するため、会議準備の印刷や製本といった手間がかからないのが特徴です。議会で必要とするさまざまな会議資料は、府内に設置されたサーバで管理されます。無線LANでサーバと各議員が扱うタブレットを接続すれば、印刷することなく画面上で情報を得ることができます。

タブレットを使用した2回目の議員研修を開催しました。

タブレットを使用した議会運営が拡大する中で、本市議会においても導入準備に向け、議員自らがタブレットの使い方に慣れるところから研修を始めています。

◆2月16日

した、食による来島者を増やすともに、農業基盤の維持拡大や淡路島ブランドの推進を図り、元気な地域づくりを進めたいとの計画です。

政務活動費・議会交際費の公表

政務活動費は、地方議員の資質の向上を図り、地方議会の活性化を図っていくため、地方自治法に規定され、地方議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。

本市では、条例により議員1人当たり月額12,500円（年額15万円）を、会派へ年度当初に交付しています。そして、年度末に1年間の収支報告書などを提出することが義務付けられており、その時点で交付された政務活動費に残余がある場合は、市へ返還することになっています。

議会交際費は、市議会の円滑な運営を目的として、議長などが市議会を代表して外部の関係者と良好な関係を築くために、特に必要と認められる経費です。

平成27年度 政務活動費執行状況

(単位：人、円)

会派名	議員数	交付額(A)	執行額(B)	(B)の内訳								返還額(A)-(B)
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	
宙(おおぞら)	6	900,000	864,662	864,662	0	—	0	0	0	0	0	35,338
「志(こころざし)」	6	900,000	840,840	732,540	0	—	0	108,300	0	0	0	59,160
日本共産党	3	450,000	173,210	42,810	130,400	—	0	0	0	0	0	276,790
公明党	2	300,000	245,280	245,280	0	—	0	0	0	0	0	54,720
市民みどりの会	1	未申請	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	18	2,550,000	2,123,992	1,885,292	130,400	—	0	108,300	0	0	0	426,008

※広報費については、市議会の申し合わせにより使用しないこととしています。

平成27年度 議会交際費執行状況

区分	祝金	弔慰金	見舞金	会費・負担金	接遇費	手土産品代	寸志	その他	合計
件 数(件)	1	2	0	27	0	5	2	4	41
支出額(円)	30,000	10,000	0	279,500	0	27,264	20,000	35,313	402,077

就任あいさつ

議長 山本和彦
副議長 上田昌孝



市民の皆さまには、平素より市議会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、私どもは、3月定例市議会におきまして、栄えある洲本市議会議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に感謝申し上げますとともに、職責の重大さを痛感いたしております。

微力ながら、市民の皆さまの声に耳を傾け、開かれた議会を目指して、議会の活性化に継続して取り組んでいく所存でございます。

本市は、人口減少をはじめ

とする多くの課題に直面しています。これらの課題に対するひとつの答えが、昨年10月に策定されました「洲本市総合戦略」であります。まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指して策定されており、今後、この計画を本格的に実施していくわけですが、その成果次第で本市の将来が左右されるほどの重要な計画だと考えております。

私ども市議会は、二元代表制の下での議決機関として、果たすべき役割を全うし、さまざまな課題に真摯に立ち向かい、市民の負託と信頼に応えられるよう、全力を傾注する決意でございます。

今後とも市議会に対しまして、なお一層のご指導とご協力を賜りますよう、お願いを申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

本市では、全国各地の地方自治体の議会から、行政視察を積極的に受け入れています。他の自治体と情報交換がで

き、本市の取り組みに対しても意見をいただけるなど、行政視察は議会活動の向上に役立っています。

全国から行政視察に来訪



▲定住促進事業についての視察の様子

行政視察の受け入れ状況（平成28年1月～3月）

月日	議会名	人数(人)	調査内容
1/26	愛媛県大洲(おおず)市	10	定住促進事業について (お帰りなさいプロジェクト他)
1/27	愛知県一宮市	3	いきいき百歳体操について
2/4	神奈川県箱根町	6	ゴミ袋の有料化について
2/11	広島県	2	洲本市立図書館の運営状況について
2/18	兵庫県たつの市	1	アスパ五色について

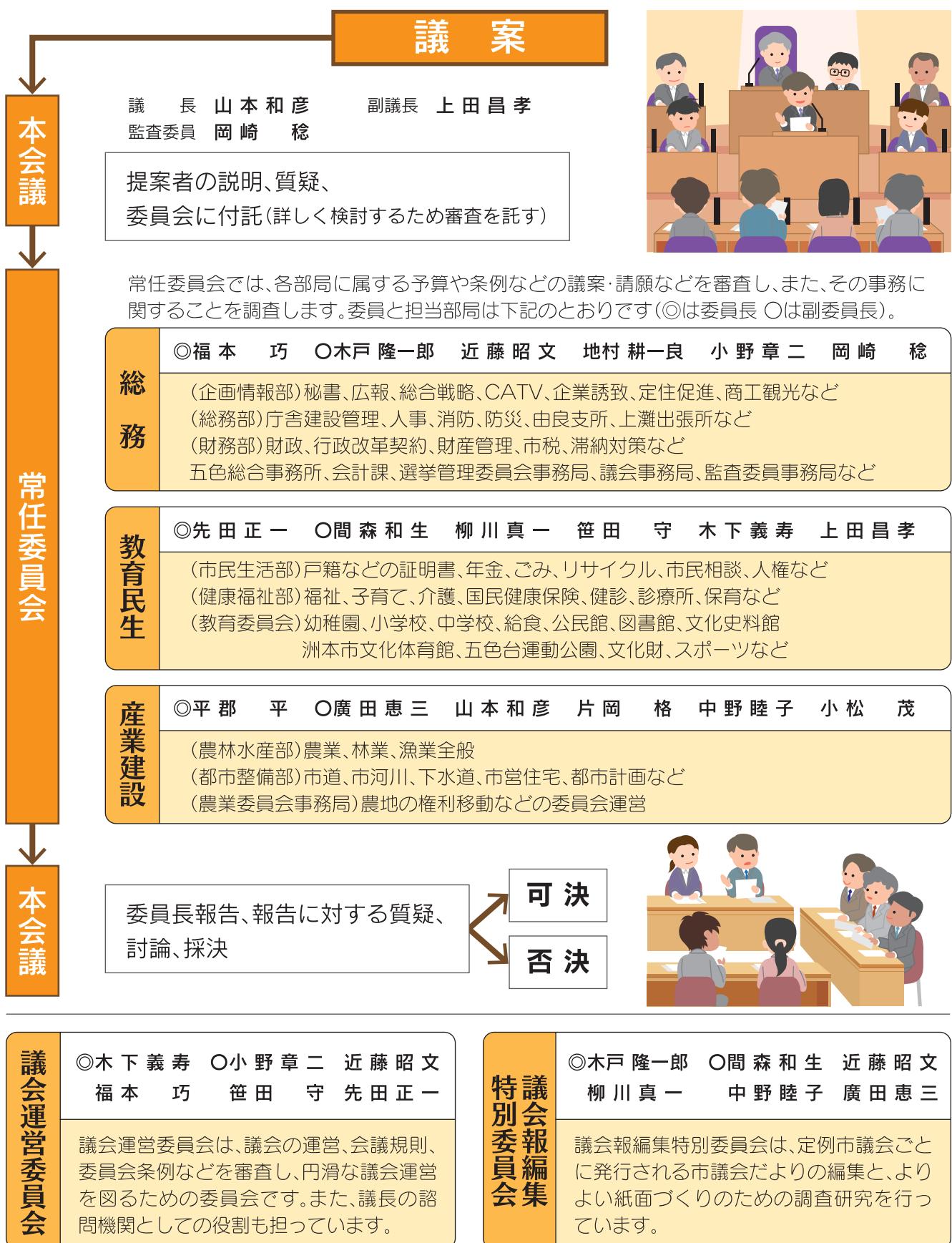
※人数には議会事務局の随行者などを含んでいます。

編集後記

◆新年度が始まり、市民の皆さんも気持ちを新たにし、スタートを切られたことと存じます。◆議会においても役員改選が行われ、新議長のもと、各常任委員会のメンバーの顔ぶれも変わりました。議会報編集特別委員会においても1名の委員交代があり、今月号は新旧の委員合同で編集作業を行いました。◆今年度の編集方針としては、次期参議院選挙より選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることもあり、より若い世代に議会に興味を持つてもらえる議会報を目指し、改善を図つてまいります。◆この度、市内3校の高校3年生を対象に、この議会報を基にアンケートをお願いすることになっています。◆また都部からの移住先として本市が注目されていることから、移住希望者にも興味を持っていたら、紙面づくりにも努めていきたいと思います。

（廣田）

議案を審議する流れと委員会の役割



(正副議長、監査委員、各委員は3月定例市議会で上記のとおり構成されました。)